

2018年度国際文化学部2年生ガイダンス

“自己成長へつながるSA”
とするために

SA主任 中澤 史

A world map with a blue background and white landmasses. Several colored pins are placed on the map: blue pins are located in North America (USA and Canada), Europe (UK, France, Germany, Spain, Italy), and Australia; red pins are located in Europe (Russia, Poland, Czech Republic, Slovakia, Hungary, Austria, Switzerland, Netherlands, Belgium, Luxembourg, Denmark, Sweden, Norway, Finland, Iceland, Greece, Turkey, Israel, Japan, South Korea, Taiwan, Hong Kong, Singapore, Malaysia, Philippines, Indonesia, Thailand, Vietnam, Laos, Cambodia, Myanmar, India, Pakistan, Bangladesh, Sri Lanka, Nepal, Bhutan, and Mongolia).

世界10か国16大学・7言語のSAプログラム

- 長期SA 16単位の修得が可能
- 短期SA 4単位の修得が可能

国際文化学部SAプログラム

- 英語圏
- 非英語圏

国際文化学部、そしてSAがめざすもの

国際文化学部がめざすもの

- 異なる文化を背景とする他者を理解し、適切なコミュニケーションを取ることができ、その上で豊かな文化をもつ平和な世界の構築に貢献できる人材を育成すること

⇒ 国際社会人の育成

• SAの目的

- ① 異文化の理解とそこでの共存
- ② 外国語運用能力の向上

⇒ 国際社会人を育成するためのひとつの**課程**

SAは本学部の大切な課程のひとつ、 でも最終目的ではない！



SA前にやること

①SA参加基準を満たす ⇒ **必要な単位の修得**

②ガイダンスや説明会への出席

・事前指導、危機管理ガイダンス、直前ミーティング ⇒ **必ず出席する**

・SA留学リスク説明ガイダンス ⇒ **必ず出席する**
(5/12(土) 13:10~14:50 富士見ゲート棟・G403)

③提出物、諸手続きの完了 ⇒ **締切厳守**

・SA担当、国際文化学部事務課との連携

④保険の契約「**弁護士費用特約**」 ⇒ **個人契約となる**

⑤自分の**心身の調子**を知り、**必要なケア**をしておく

・常備薬の準備、健康診断や歯科医の受診、予防接種

SA出発日時の変更等を希望する場合

- **留学ビザ取得後の海外渡航は原則禁止！**
- やむなく留学ビザを取得後に学生が海外渡航を希望する場合
- 体育会活動などの理由によってSA出国日時の変更を希望する場合



- 原則として**2018年5月31日(木)**までに以下の申請書類を学部事務課に提出し、国際文化学部の承認を得ること。
 - ① 学生本人ならびに保証人がその理由を記した申請書
 - ② 体育会活動などの場合、所属運動部の部長等が大会概要の詳細等を記した依頼書

自分の心身の調子を知っておく

かかりつけの病院がない、心身に不安がある場合は・・・

- 診療所(**BT2階**)
- 学生相談室(**富士見坂校舎4階**)
- 教職員へ相談

「授業についていけるだろうか!？」
「SAのことを考えると不安になる・・・」

メンタル面で困った時の心得

「授業についていけるかな！？」「治安は大丈夫かな！？」

- ・ SAのことを考えると不安になる・・・

ストレス・マネジメントの方法

- ① **自分でコントロールできること**に目を向ける
 - ・ 過去, 未来, 他者・・・コントロール不可能
 - ⇒ 「どうすればうまくいくか」: **適応の仕方**を考える
- ② **OKライン**を設定する
 - ・ 今の自分を受け入れる ⇒ 「これだけでできればOK！」

SA先で後悔したことは？

「SA体験記」にある先輩の声から

- **語彙力**が不足している！
- **リスニング力**が足りない！
- **コミュニケーション能力**を磨いておけばよかった！
- **書く力**が足りない！
- 自国の文化、社会、歴史を知らなすぎた…**教養のなさ**

SA先で後悔しないために

①外国語運用能力の向上に努める

- ・自分自身で外国語学習を進める。必修科目だけでなく基礎4群選択科目も受講する。

②異文化理解…異なる文化、社会を理解する

- ・映画を観る、音楽を聴く、外国語で小説・新聞を読む。

③自国に対する理解…自分の文化、社会を理解する

- ・日本語・母語での表現も実は、実に大切。

④文化の表現のされ方・仕方、情報発信の方法を学ぶ

- ・多様な科目を受講する。

⑤心身の調子を整えておく ⇒ **健康第一!**

SA期間中にやること

- ①緊急時の連絡先の通知 ⇒ **携帯番号**を知らせる
- ②**月例報告、旅行届**などの提出
- ③**積極的な授業への参加** ⇒ **授業参加は義務**
- ④**トラブルが発生したら** ⇒ **SA先の大学、SA担当の教職員に相談**
- ⑤「**安全**」への自覚と自主的な対応
 - ※SA担当事務課や大学の方針・指示を守る
 - ※外務省海外安全ホームページの**国・地域別の海外安全情報**において、**危険レベル1以上**に指定される**国・地域への立ち入りは、原則として禁止!**

禁止事項-その1-

①車・バイクの運転

②アルバイト

③禁止・制限薬物の使用および保持

- SA先、SA先以外の通過地・滞在地、ならびに日本の法律で、禁止または制限されている薬物の使用および保持を禁止します。

④カジノ

- SA先やSA先以外の通過地・滞在地の法定年齢に達していても、日本の法律に従い、SAプログラム期間中の賭博行為を禁止します。

⑤飲酒

- SA先やSA先以外の通過地・滞在地の法定年齢が20歳未満であっても、日本の法律に従い、20歳未満の者の飲酒を禁止します。
- 20歳以上であっても、SA先やSA先以外の通過地・滞在地の法定年齢に達していない者の飲酒を禁止します。

禁止事項 -その2-

①民泊サービス(Airbnb等)

- 現段階において民泊サービスに関するトラブルが多く報じられている。
- 学生側が部屋を汚したり物品を壊したりといった過失により加害者になってしまう可能性がある。またオーナー側による暴行、窃盗、盗撮など学生が被害者となる可能性がある。 ⇒ **原則禁止!**

②配車サービス(Uber等)

- 現段階において配車サービスに関するトラブルが多く報じられている。
⇒ Uber等のスマホアプリを利用した配車サービスについては**原則禁止!**

※事前にバスや鉄道などの公共交通機関の発着時刻を調べておく、
正規のタクシー会社を利用するなどの対策を講じてください。

③危険レベル1以上に指定される国・地域への立ち入り ⇒ **原則禁止!**

遵守事項

① 緊急連絡先

- SA先到着後1週間以内に、SAリーダーはメンバー全員の「緊急連絡先」を集約し、SAポータルサイトを通じてSA担当教員及びSA担当事務課に必ず報告して下さい。
- 旅行等でSA先を離れる場合でも、緊急時に備え、確実に連絡がつく態勢を取って下さい。

② 旅行届

- 出発の2週間前までにSAポータルサイトを通じて提出し、その返信を必ず確認して下さい。
- 年末年始など大学事務休業期間中にかからないようにしてください。

注意事項

① パスポート、クレジットカード、金銭などの盗難

② ビザ有効期間の確認

- ビザの更新が必要な学生は、ビザの有効期間がSA期間を十分カバーしていることを確認して下さい。

③ 宗教やカルト団体等への不審な勧誘

帰国後にやること

- ① **SA帰国レポート**の提出
⇒ 重要な**成績評価基準**のひとつ
- ② **帰国報告会**への参加
- ③ **SA体験記、SA自己評価シート**の提出
⇒ 後輩たちへの情報提供
- ④ **演習（ゼミ）説明会**への参加
⇒ 学びの集大成
- ⑤ 語学関連の**検定試験**の受検

“自己成長へつながるSA” とするために

- SAは最終到達点ではなく、**国際社会人**になるための**通過点**
- 異文化理解を促進するために**事前準備**をしっかりとる
- 「**安全**」意識を高め、自主的に対応する

あとは自分次第！

あなたの成長を支援するために教職員がバックアップします。

A photograph of a squirrel sitting on the ground, holding a nut in its paws. The squirrel is positioned in the center-left of the frame, with its body facing forward. To its right, a large, white, cloud-shaped thought bubble with a green outline contains Japanese text. The background is a soft-focus autumn scene with fallen leaves and a tree trunk on the left. The text in the thought bubble is written in a bold, blue font.

**ご清聴ありがとうございました。
ございました。**